

# 松伏二中 での マナビカタ

## 中二音楽

### 教科モットー

歌うことを楽しみ、  
表現することに積  
極的になろう！



### 学び方の系統

3年  
旋律の重なり方、曲の仕組み、い  
ろいろな音楽、曲想・歌詞、総合  
芸術、日本の音楽、のびやかな歌  
声、合唱の響き等。

2年  
旋律の重なり方、曲の仕組み、い  
ろいろな音楽、曲想・歌詞、総合  
芸術、日本の音楽、のびやかな歌  
声、合唱の響き等。

1年  
旋律の重なり方、曲の仕組み、い  
ろいろな音楽、曲想・歌詞・イメ  
ージ、日本の音楽、明るい声、合  
唱の響き等。

### 教科のねらい

- 1 学習活動の充実を図り、多様な音楽経験を積ませ、広い音楽的視野を持った生徒の育成を図る。
- 2 音楽を愛好する心情と豊かな感性の育成を図る

### 学年の学習内容

- ・合唱  
クラス合唱・学年合唱を行うことで、混声合唱の楽しさを勉強する。
- ・器楽  
リコーダーに触れ、楽器によって演奏（表現）する楽しさを勉強する。
- ・鑑賞  
いろいろなジャンルの音楽を聴くことで、美しさや楽しさ、楽器の音色を味わう。

### 評 価

- ① 音楽への関心・意欲・態度  
音楽へ親しみ、音楽を進んで表現し、鑑賞しようとする。  
(忘れ物や指揮・伴奏・パートリーダー等進んで立候補したりする。)
- ② 音楽表現の創意工夫  
音や音楽のよさや美しさを感じ取り、それを音楽活動の中で創意工夫し、生かしている。(楽譜上の記号や意味を理解し、表現しようとしている。)
- ③ 音楽表現の技能 音楽を表現するための基礎的な技能を身につけている。
- ④ 鑑賞の能力 音楽を楽しく聴取、鑑賞し、そのよさや美しさを味わう。

### 言語活動

#### 思考力・判断力・表現力等を育む教科の取組

- ① 音楽の構造的側面（音楽を形作っているもの）、リズムや記号等に気づき、どんな意味を持つか説明したり調べたりして、楽譜に直接記入していく。
- ② 音楽の感性的側面（生徒が曲を聴いて感じ取るもの）を自分の言葉で説明してみたり、発表しあい、キーワードとして楽譜等に記入していく。

# 学習計画

学期	月	学 習 事 項 こんなことを学びます	重要事項・ことば等	チェック
一学期	四月	「校歌・夢の世界を・翼をください」 新しいクラスの仲間と初めて歌を歌います。	まずは新しい仲間と楽しんで歌うことです。	
	五月	「翼をください」 男子の声変わりがだいたい終わり、大人の声に近づきます。大人の声を伸ばします。	お腹で息を吸い、深いところから声が出せるようにしましょう。	
	六月	アルトリコーダー 「Lesson2」 「夏の思い出・荒城の月」歌い継がれている曲ですので、歌詞を注意して歌いましょう。	・アルトリコーダーの基礎を身につけよう。 ・昔の言葉や表現方法に注意しましょう。	
	七月	「しらさぎ祭・クラス曲の練習」 パート別の音取りを完成し、合唱することの楽しさを勉強します。	クラスの雰囲気にあった無理のない曲を選びましょう。	
二学期	九月	「しらさぎ祭・クラス曲の練習」 クラス曲の歌詞の内容などをクラスで話し合い、本番まで仕上げていきます。	積極的に音取りに参加し、合唱することを楽しみましょう。	
	十月	「交響曲第5番 ハ短調」～ベートーヴェン～ を鑑賞します。	ソナタ形式の仕組みについて覚えましょう。	
	十一月	「アイーダ」～ヴェルディ～ 「歌舞伎」 総合芸術について勉強します。	オペラや歌舞伎は似ています。比較しながら鑑賞しましょう。	
	十二月	「器楽・合唱選択制授業」 クラス内で個人が勉強したいものを選択します。	歌が苦手な人も、楽器を使って表現ができます。隠れた才能を見つけよう。	
三学期	一月	学年合唱曲「予感」(H19) 学年に応じた合唱曲集を選び、練習します。 2年生合唱のしめくりです。	声変わりがほぼ終わり、歌いやすくなります。更に大人の声を目指しましょう。	
	二月	「国歌・校歌・そのままの君で・揚げば尊し」 卒業式の練習です。3年生を送る素晴らしい歌になるように練習をします。	1年間で勉強した発声方法を卒業式で生かせるように努力しましょう。	
	三月	「卒業式の練習」 クラスで取り組みたい曲などを卒業式後に歌い、1年の締めくりとします。	音楽にはいろいろな種類があります。ジャンルにとらわれず、音楽を楽しみましょう。	

# ようこそ、音楽の授業へ！

## 音楽の授業は こう受けよう！

大きな口を開けて歌うことが基本です。お腹から無理のない発声で歌いましょう！

毎回の授業、忘れ物をすると成績に大きく関わります。忘れ物をしないようにしましょう。

授業の最初に声だして簡単な曲を歌います。その際、指揮や伴奏をすると評価があがります。積極的に立候補しましょう。

アルトリコーダーやギターやヴァイオリンを使う場合があります。積極的に練習をし、いろんな楽器の面白さを知って下さい。

授業を受ける前  
受けた後  
これだけはやって  
おこう！

### 授業を受ける前

- ・忘れ物がないかの確認。
- ・いい声が出せるように、喉を開けておきましょう。(何もしない状態だと声帯がしまってしまう)
- ・うがいをしておきましょう。

### 授業を受けた後

- ・うがいをしましょう。
- ・声帯を傷つけないように、叫んだり騒いだりしないようにしましょう。

### 授業に持ってくるもの

音楽4点セット（音楽2,3年上の教科書・器楽の教科書・コーラスフェスティバル・ファイル・筆記用具）

### 各授業で評価に係わる大事な点

- ① 出席・欠席・忘れ物。
- ② 指揮者・伴奏者・パートリーダー立候補。
- ③ 音楽的な声（いい声で無理のない）で歌えているか。
- ④ いろいろな楽器に興味・関心をもち、積極的に授業に参加しているか。